

# 地球のいのち

B L 研究所  
100円/1部

- ◆ 竹の湧泉の誕生史
- ◆ ノーリグレットボリシー
- ◆ 虹の天使

「竹の湧泉」には、あなたの人生だけでなくあなたを取り巻く世界を変える力があります。

竹の湧泉について書いてきたこの「地球のいのち」ですが、今回で5号目となりました。ダイジェスト版や4号では、「竹の湧泉」が家庭の衣類に引き起こした様々な事実を紹介しました。また、最近でも、『ドラム式の洗濯機を使っています。洗濯機の掃除は特にしないなかつたのですが、竹の湧泉を使っているうちに洗濯機がピカピカになつてきました。』という声をいただきました。また、三重県に住む主婦の方からも、『10年くらい使つていなかつたセーターを、竹の湧泉で洗つているうちに新品同様になつてきました。お気に入りのセーターだからすく嬉しいです。』というお声をいただきました。他にも『すぎが一回で済むので洗濯の時間が減つてくれしい』『主人のシャツの襟元の汚れも本当にこれだけで取れま

した!』など多くの声をいただいております。この洗剤をお勧めしている身としては大変嬉しい限りです。

実際に使われた方が喜んでおられる姿を見るとき、多くの本を読んだり人の話を聞いたり、自分で考えたり実験したりして思索を深めてきた甲斐があつたと本当にうれしく思います。

先日も『洗濯機の臭いがどうしても気になつて…』という方が竹の湧泉を買わせていました。合成洗剤や石鹼によつて洗濯層力ビが発生していましたね。

竹の湧泉は1リットル1470円と、一見すると高く感じますが、使つてみると市販の洗剤や柔軟剤を使うよりも安く感じます。私の場合は一人暮らしであり、洗濯は3日に1回です。そのとき使う竹の湧泉はたつたの20ミリリットルです。それで汚れが落ちるし柔らかく仕上がるので、計算すると3日に1回29.4円を使つてすることになります。ですから、私4円で成り立っています。

また、竹の湧泉をほんのちょっとだけ(5ミリリットルほど)市販で売つてあるスプレー容器に入れ、水で希釈すればトイレやキッチン、窓が洗える洗浄液になります。これで窓ガラスを拭くとピカピカになります。さて、多くの家庭に幸せの種をまいている「竹の湧泉」ですが、まれたのでしょうか?この商品の誕生史を見てみましょう。

## 竹の湧泉の誕生史

はじまりは京都でした。京都で美容院を営む牧野裕子さんという方がおられます。牧野さんは「炭と塩の洗濯法」を考案された方で、著書をいくつか書かれています。

また、お酢を使って髪を洗つたり、前述の炭と塩を使っての洗濯法を考案したり、農業や自然食の分野に取り組まれたりと様々な活動をされ、現在では多くの方々に影響を与えおられます。

そんな牧野さんも、昔は石鹼や人工界面活性剤入りの化粧用クリームなどを使つっていました。その来事が1994年の11月に起きました。牧野さんが仕事でとても疲れていて、入浴時に石鹼を使わず湯船につかるだけの生活が1か

月ほど続いたところ、それまで一生懸命に石鹼で洗つても全くなくならなかつた背中のニキビがほとんど治つてゐることに気付いたのです。『脂を皮膚から落とし過ぎない』と思い、それ以来、入浴は湯船につかるだけ、夏はシャワーだけ、肌には何も手入れしない、という生活を始めました。

さて、時は移り1996年7月、牧野さんの講演会にひとりの男性が訪れます。牧野さんとの男性との出会いがなかつたら、みんなさんが手にしている「竹の湧泉」はこの世界には存在していなかつたでしょう。

この男性こそが中杉信三氏、あなたの手元の竹の湧泉や竹ローション、竹ジエルクリームなどの生みの親です。

牧野さんの「炭と塩による洗濯法」の話を聞いた中杉さんは、この洗濯法を利用して商品開発に奔走します。「炭と塩なんて常識外」、「大手がやっていないのになんができるんや。」などと消費者から批判を浴びる中、1998年に商品が完成。備長炭と塩で選択する「備長くん」として世に送り出されます。

当初は順調の売れ行きだった「備長くん」でしたが、中国で安く生産され国内に輸入されてきた

類似商品が出回り始め、あるときはぱつたりと注文がやみます。

そんな矢先、中杉さんが地方で展示会をしていたときにある人から『固体でなく液体だつたら使い勝手がいいわ』と言われました。『炭から液体が取れるわけないし、無理だろ』と中杉さんは当初考えていました。

そんな中、中杉さんはある光景を目にします。「備長くん」づくりで中杉さんが提携するメーカーは、工場でウバメガシから備長炭をつくる過程で、炭を煮沸し天日乾燥するという方法をとっていました。そして、その工場で煮沸後、排水を裏の池に捨てているのを見ました。『汚れた水なのでは? いわば、工場廃液なのだから。』と感じた中杉さん。しかし、備長炭が入浴時などに入れて消臭効果やミネラル抽出に使われていることを知つていた中杉さんは、直観的に工場廃液に何かが入っていることを見抜きました。『化学製品をつくる工場からの廃水は人体に有害なものが多い。しかし、備長炭を洗う・煮沸するという工程、それはそのままミネラル抽出の作業でもあるのです。』と思いつきます。また、江戸時代の洗濯法がカリウムの多い灰を使っていたことも思い出し、灰を利用して液体洗剤をつくることに決めたのです。

「竹の湧泉」が生まれるまでには奇跡のタイミングとも言えるさまざまの人と人の出会い、発見、気づきがありました。そうした過程で生まれたこの「竹の湧泉」を、

現在69歳の中杉さん。竹の湧泉は『製造から廃水まで自然を壊さず、川も汚さない完全自然循環型の製品です。』と胸を張ります。中杉さんが経営する「アイ・シード」という社名には愛の種がタンポポの種のように広がっていくように、といった思いが込められているそうです。中杉さんの願いは1つ。『愛情と工夫で環境にやさしい、人にやさしい製品を生み出して広げていきたい。』

私は本当に将来的にも意義のあるものだと思っています。私は自信を持つて言います。「竹の湧泉」はすすぎが一回、柔軟剤を圧倒して過剰にはびこり、その有効利用が待たれています。竹炭のカリウムとケイ素、ミネラルなどに注目して竹炭ミネラル水からの洗浄液が完成。これこそが、今あなたが手にしている「竹の湧泉」なのです。

私は大学時代から環境問題について意識をし、ホテルで余ったキヤンドルを使って夜を過ごすキヤンドルナイトをしたり、マイ箸を持ち歩いたり植林活動に参加したりしてきました。今でも「余計なものは使わない」生活を心がけています。

シャンプーやリンスは使いません。石鹼も使いません。ときどきお風呂の浴槽に竹の湧泉を少し入れ、それで体を洗っているだけですが日常生活において問題がないどころか髪や肌はきれいになっています。

「竹の湧泉」を使わずに水だけでも衣類を洗つても私は気にならないが、地球のこと、日本のことを考えたら「竹の湧泉」のような商品はお金を出してでも使つた方がいいです。その意味について今回は環境問題を交えて書いていきます。

また、「二」がおもしろい点ですが、シャンプーやリンス、石鹼やバスクリーナーを使わないと、お風呂場が全く汚れないのです! 今

地球規模で温暖化が進み、北極の氷が解け始める。氷の上でしか生き

「灰の洗剤」として液体洗剤は完成、産経新聞やメディアで取り上げられるなど徐々に広がっていました。

そんな中、中杉さんのもとに山口県のメーカーから「竹炭から同じような自然洗浄液ができるのか?」という相談が舞い込んできました。竹が日本の山々で他の種を圧倒して過剰にはびこり、その有効利用が待たれています。竹炭のカリウムとケイ素、ミネラルなどに注目して竹炭ミネラル水からの洗浄液が完成。これこそが、

私は本当に将来的にも意義のあるものだと思っています。私は自信を持つて言います。「竹の湧泉」はすすぎが一回、柔軟剤がいらない、ウールやシルクも洗える、といった家計に優しいだけではなく、地球にも本当に優しいのです。

私もあなたも、共に地球という家に住む家族の一員です。地球がないと私もあるたも生きられません。私たちには、私たちのためにも、地球のことを考えていく必要があります。

私は大学時代から環境問題について意識をし、ホテルで余ったキヤンドルを使って夜を過ごすキヤンドルナイトをしたり、マイ箸を持ち歩いたり植林活動に参加したりしてきました。今でも「余計なものは使わない」生活を心がけています。

お風呂場にカビが発生するといふことは、カビのエサとなるものがお風呂場で発生しているということです。その発生源は合成洗剤や石鹼でしょう。お金を払って買った洗剤や石鹼でカビが発生し、そのカビを除去するために別に洗剤を買うのはもつたないです。洗剤を使わないなんて不潔、と思わないでください。合成洗剤を使っている人たちは髪や皮膚から放つ臭いで相手の鼻を刺激していることもあります。私も明らかに合成洗剤か石鹼を使つて思われる人に先日お会いしましたが、話の途中、臭いが気になつて仕方なかつたという苦い経験もあります。

## 環境問題

られず泳ぎが下手なシロクマたちは海に投げ出され、溺死をするか天敵のシャチに食べられています。

これらの他にも、森林伐採、水質汚染、大気汚染・酸性雨・砂漠化など多数の環境破壊の問題が叫ばれています。

地球上に起きている事実を知った人は不安を抱きます。『一体地球はどうなってしまうのでしょうか?』と。そのような不安から、『人間がこのようないくつかの環境破壊を引き起こしてきた人間なんて、地球という自然にとって死んだ方がましだ。』ということを言い出す人も現れる始末です。また、資源の無駄づかいをしている友人を見て「おい、もつと資源を大事にしろよ!」と注意して人間関係を『じらせたり、とにかくこの環境問題というのは私たちの生活と考え方に大きな影響を与えていることは事実です。

さらに、『どうして環境問題にはウソがまかり通るのか』(池田氏)という本が出版されるなど、多くの人がどの情報を信じたらいいのか分からなくなってしまっているのが現状ではないでしょうか。

私も、どの情報を信じたらいいのか分からなかつた者の一人でした。合成洗剤や石鹼の害についても多くの意見がある中で、どうしても合成洗剤はダメ! 石鹼はダメ! と言えませんでした。そんな私を救つてくれたのが、日本の水俣病を取り巻く運動から生まれた1つの言葉でした。

## ノー・リグレット・ポリシー

あなたはノー・リグレット・ポリシーという言葉をご存知ですか?

英語でN.O. Regret P.O. I. C.Yと書き、Regretは「後悔」、P.O.I.C.Yは「行動計画」の意味ですから、全体の意味は『後悔のないような行動計画』のことです。しかしこれだけでは何のことかよく分かりませんので解説します。

たとえば、今では地球温暖化が世界的な環境問題となっています。地球の平均気温が上昇し、世界各で海水レベルの上昇による塩害などの被害が報告されています。

地球温暖化の犯人として頻繁にあげられるのが二酸化炭素を中心とした温室効果ガスです。そのため、地球温暖化問題を解決するため、国家レベルで二酸化炭素排出を抑えるための政策が取り入れられています。例えば、排出された二酸化炭素に炭素税と呼ばれる税を課し、産業界が二酸化炭素を排出すればするほど損をするような仕組みをドイツなどは実践しています。このような税の仕組みがあれば、産業界は二酸化炭素を出さないように努力をするので、結果的に二酸化炭素の排出量が減ります。

さて、地球温暖化という問題について『地球温暖化の原因は二酸化炭素ではなく、太陽系の惑星の1つである地球の気温が上昇する時期に来ているだけであり、二酸化炭素が原因であるという説は環境グループたちが自身の活動を正当化するためのレトリックである。』というような声があります。

あなたはどう思いますか? たとえ二酸化炭素が地球温暖化の原因であるかどうかが科学的に証明されていても、怪しいものは使わない、というのがノー・リグレット・ポリシーです。つまり、「今私たちが生きている現実世界の中では、二酸化炭素と地球温暖化の関係について100%の立証はできない。でも、科学的に立証されるまで自由に二酸化炭素を出してもいいのか?」

2『私は二酸化炭素が本当に地球温暖化の原因であるかどうかは分かりません。でもここまで二酸化炭素が温暖化問題で言われるということは、何らかの理由があるはずです。後になって二酸化炭素がやっぱり温暖化の原因だったと分かった時に後悔しないように、今のうちから私は二酸化炭素を出さないような行動をしてきます。』

十年たってから「二酸化炭素が地球温暖化の主原因である」と判明したときには、二酸化炭素を無規制に排出していたその数十年は人類にとって大きな負の遺産となります。科学的に証明されるまで行動しない、というそのツケは私たちの子供や孫たちが払うこととなるのです。あなたは次の2つの考

え方のうち、どちらの考え方の方がまともだと思いますか?

1『二酸化炭素が本当に地球温暖化の原因であるかどうかはまだ分かりません。でもここまで二酸化炭素を排出しないように努力をして、後になって二酸化炭素が地球温暖化の原因でなかつた、と分かったら後悔するよ。だから私は科学的に証明されるまでは二酸化炭素を排出します。』

1も2も、どちらもノー・リグレット・ポリシーではあります。意味内容が真逆です。1は消極的、打算的、2は積極的、道徳的な考え方です。そもそも科学的に100%立証されることなんて有り得ません。科学に対する妄信は危険なのです。大切なのは科学のデータなどではなく、少しでも疑いのあるものは使わないという考え方

と行動なのです。1の考え方をする人たちはかりになつたらこの地球は危ないです。1のような考え方を持ち世界中から大批判を浴びている国では、最近新しい大統領が選ばれました。

また、1の考え方を持つていた国を見習つて国際社会の中で無責任な態度を取り、環境NGOグループから「温暖化対策に積極的に取り組んでいない」として化石賞を受賞したどこかの国も「チャンジ」が必要です。

長くなりましたが、ノーリグレット・ポリシーについて紹介させていただきました。例として地球温暖化と二酸化炭素を挙げました。私は洗剤においてもノーリグレット・ポリシーの考え方があ

り生きてくれると思います。

レット・ポリシーについて紹介させていただきました。例として地球温暖化と二酸化炭素を挙げました。私が洗剤においてもノーリグレット・ポリシーの考え方があ

ります。どちらの言い分も正しく聞こえます。

私は、この「合成洗剤か？石鹼か？」という対立構造から抜け出します。時期に来ていると思います。どちらにも怪しい点がある以上、ノーリグレット・ポリシーの思想に基づいても、石鹼や合成洗剤は受け入れることはできません。

そこで私は第3の道を提唱します。それこそがあなたが手にしている「竹の湧泉」なのです。「竹の湧泉」は合成洗剤ではありません。でも汚れを落とすだけでなく衣類を柔らかくしたり、洗濯機をピカピカにしたり、浴槽のアカを落してくれます。汚れが落ちて衣類も柔らかく仕上がるのであれば、いつたいこれ以上何を求めるのでしょうか？

もはや、合成洗剤か？石鹼か？

争に「合成洗剤か？石鹼か？」があります。『合成洗剤は生分解性が低いため、いつまでも成分が分解されず、河川の汚染につながる。また、合成洗剤に含まれている人工界面活性剤は、経皮毒によって皮膚障害や肝機能障害を起こすために、健康面でも危険である』といふ声もあれば、一方では『石鹼は生分解性はいいかもしれないが、石鹼力スを分解する水中生物が分解時に水中から大量の酸素を消費

するため、他の生物の生存に必要な酸素を奪う。また、石鹼力スは洗濯機の力ビ発生の原因となり、夏は衣類に石鹼力スが残り汗をかいたときに皮膚に付着して皮膚障害の原因となる。』という声もあります。

私は放題されてしまった原因是、中国からの安いタケノコの輸入により国産タケノコの国内消費が低下したことは大きな原因です。国産のタケノコを食べる人が少なくなると、タケノコを収穫するために竹の手入れをする必要性がなくなり、結果として竹の害が広がります。

環境問題において、一番の解決策は地産地消です。地域で作られたものをその地域で消費する。そうすれば、土地でできたものを運ぶトラックなどの走行距離が短くなり、より少ない二酸化炭素の排出で済みます。高知県の山の竹と湧き水から作られた「竹の湧泉」は製造過程で環境に負荷を与えない地産地消型の商品です。水を汚さないどころかむしろ浄化してくれます。

地球の表面の70%を水が覆い、あなたの体内の70%を水が満たしています。汚れた海の水は巡り廻すときです。私たちが生きる地球は待ったなしで環境破壊が進んでいます。汚れた海の水は巡り廻してあなたの体に戻ってきます。

とある先住民族の言い伝えに、『地球が危機に瀕するとき、森か

竹が動き始めます。』と紹介されています。

私はこれを先住民族による観察する予言だと思っています。自分のことだけでなく、他人のこと、地球のことを考えて行動できる虹の天使は増えてきています。私の周りでも都会のビルの屋上を利用した都市農業を始めようとする24歳の友人が大阪にいます。京都で地産地消を実践する村を作るためにNPO設立をしようとする24歳の友人もいます。彼らも明らかに「虹の天使」です。

あなたも「竹の湧泉」で地球の浄化をする虹の天使になりませんか？人間がつくった問題は必ず人間が解決できます。人とつながり手を取り合って、私たちの努力で美しい地球を子供たちに残しましょう。

### 『竹の湧泉』(1リットル)一四七〇円

竹の湧泉についての問い合わせ

B.L.研究所 富永  
078 334 0624

※ 竹の湧泉は7本以上の注文で送料無料となっていますが、あすなろ玄米注文の際には送料は玄米の価格に含まれております。ぜひ次の機会にお試しください。